

「ぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式を実施

～本山第三小学校区防災福祉コミュニティ MKBT の13名が「デジタルマップ特別賞」を受賞～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：東口 嘉仁・三井住友海上火災保険株式会社執行役員 関西地区担当）では、第22回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」において「デジタルマップ特別賞」を受賞した「本山第三小学校区防災福祉コミュニティ MKBT の3年生～6年生の児童13名」に対し、2月16日（月）に神戸市立本山第三小学校において表彰式を実施しました。

本コンクールは、子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災、防犯、交通安全に関係のある施設や設備を発見し、地域の人などにインタビューし分かったことをマップにまとめる実践的安全教育プログラムです。2025年度は全国の小学校、子ども会、児童館など407団体から6,665人が参加し、1,289作品（うち、当協会の専用タブレットを用いて作成したデジタルマップは548作品）が寄せられ、そのうち22作品が入賞（デジタルマップ特別賞含む）しました。

本作品は、防災をテーマとして、今年度、神戸市内で初めて結成された本山第三小学校区防災福祉コミュニティ MKBT メンバーが地域の人や保護者と一緒にまちを歩き、阪神・淡路大震災当時の話を聞いて学んだことをデジタルマップにまとめました。初参加・初受賞したことを児童も保護者も大変喜んでいました。表彰式では、教頭先生や保護者などが見守る中、当協会の金澤 友也 兵庫損保会長（三井住友海上火災保険株式会社兵庫支店長）から表彰状および副賞・参加賞が贈呈されました。また、当協会の吉澤 篤史 近畿支部事務局長から、デジタルマップ特別賞の授賞理由について、阪神・淡路大震災での教訓が、現在の避難場所や防災施設、資機材といった地域の防災対策に活かされていることに気づいている様子が見える点などが評価されたとのコメントがありました。今後、小学校の全校集会で校長先生から改めて賞状などの贈呈がある予定です。

当支部では、今後も関係機関・団体等と連携し、各種防災教育の普及啓発に取り組んでまいります。



賞状贈呈



講評



集合写真